

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和 5年 4月 3日

事業所名 幼児室ポツポ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10		基準は満たされているが、子どもたちがおもいっきり体を動かせるように積極的に園外活動を取り入れている	子どもたちがおもいっきり遊びを通じて自己表現するためには、もう少し広いスペースがあることが理想
	②	職員の配置数は適切である	10		対人関係を大事に支援しているため、基準より多めの人員配置にしている、	基準を満たしているが、職員の休みが出た時には、より安全に支援できるようチームで体制を強化している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10		子どもに応じ、マークや写真での提示などで情報を分かりやすく伝えている	より子どもたちが安心した生活空間になるように、職員間で話し合い子どもたちの状況に合わせて改善している。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10		職員全体で意識して環境を整えている	おもちゃが多い時もあるため、子どもの状況に合わせて安全の中で過ごせるように整理を日々できるように徹底している。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10		常勤職員のみ行っている	職員一人一人面談を行うようにしているが、さらに自分を振り返りできるような紙面等考えていきたい
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10		自己評価表を保護者に一年一回記入してもらい、意見を聞いて改善するようにしている。	全員が提出することが難しいので、全員が関心をもってもらえるように改善していきたい
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10		法人のホームページに毎年公表している。	誰でも見られるようにしているが、皆さんが興味を持ってさらに見てくれるように周知していきたい。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		10	第三者評価は行っていない	常に周りで見られていることを意識して緊張感をもって支援できるように心がけていきたい
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10		公認心理士による研修会を含め定期的に研修を行うようにしている	オンラインも活用しているが、職員が積極的に研修を受けられるように体制を作りたい
適切	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10		年3回アセスメント会議を行い、子どもの状況に合わせて支援計画を作成している。	より親子のニーズや子どもの成長段階に沿った計画を作成するよう心掛けている
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10		アセスメント表を作成して、常に確認できるようにしている、	アセスメント表の内容を職員でしっかり周知するように確認している。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
支 援 の 提 供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10		個別支援計画を作成する際にガイドラインの項目に当てはめて設定している	ガイドラインの項目を常に確認できるようにしているが、さらに職員間でわかるようにしていきたい
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10		支援計画をファイリングして日々確認できるようにしている。	その時の子どもの状況に合わせて、なるべく支援計画に沿った支援ができるように心がけたい。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	10		毎日ミーティングで立案の確認をしている	常勤でマンネリ化しないよう、非常勤の意見も取り入れるようにしている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10		全体の子どもの状況に合わせてプログラムを組んでいる	固定しないようにいろんな意見を出し合っ て活動を考えている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	10		担当が子どもの状況に合わせて判断して支援している	子どもの状態をまずは優先に支援するよう にしている。計画もさらに確認しながら 支援できるようにしたい。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10		毎朝、ミーティングを行いその日の支援内容を確認している。	常勤のみで行うことが多いため、非常勤 には連絡用のノートで伝えるようにしてい る。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10		夕方ミーティングを行い、日案に反省等記載し、記録に残している。	日案を非常勤職員も閲覧できるよう伝え ているが、見落としを防ぐように確認欄を 作成したい。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10		毎日の記録は作成している	子どもも記録は必ず担当職員が記録して いる、
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10		半年に一回保護者と支援計画をもとにモニタリングを行っている	
	関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10		事業所の児発管が必ず出席するようにしている
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	10		常に情報共有できるように保護者の了解を得て、会議に参加している	
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
㉔		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
係機関や保護者との連携	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10		保護者の了解を得る必要に応じ行っている	
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10		就学先の学校に必要な情報を提供している	いつでも連携できる体制を作っている
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10		月一回の会議に参加し、連携している	発達センター主催の研修会に参加している。また、連携会議に定期的に参加している
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	10		園外先で交流を行っている	子どもの状況に合わせ、交流できる場を広げている
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	10		会議に参加している	情報共有のためにも積極的に参加している
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10		連絡帳のやり取りを毎日し、必要に応じ面談、電話相談を行っている。	送迎の時に、話せる時には送迎時間を考えて時間をとるようにしている。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	10		公認心理士の専門的な個別相談を月一回保護者対象で行っている	
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10		入園説明会、保護者会の時に説明している	あまり来所しない保護者にも目に見えるような工夫をしたい。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10		支援計画の説明を行い、モニタリングで計画の見直しを行っている	保護者の同意が得られるように面談を設けて、面談を行うようにしている。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10		月一回公認心理士の個別相談を行っている	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	10		保護者会や親子行事で交流の場を作っている	いろんな保護者に配慮できるようにあまり窮屈にならないような交流を行えるよう心がけている。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10		要望があった時には面談や電話相談など話を聞く体制を作っている	早急に対応できるように今後も体制を考えていく
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10			
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	10			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10		絵カードなど使えるツールは活用している。	保護者や子どもが意思表示しやすい関係性を築けるようにしている
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	10		チラシやホームページなど情報を発信している	いろんな所に情報が届くように工夫していきたい
非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	10		法人で年一回訓練を行い、すべてのマニュアルは作成している	
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10		定期的に避難訓練を行っている	月一回避難訓練を行い、年6回隣の事業所と合同で行っている。
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10		入園児と年度の始めに確認している。	
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10		アレルギーの子は今年度はいない	入園児に必ずアレルギーあるの確認をするようにしている。
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	1	事例集を法人全体で作成している	職員全体で作成したものを共有できるようにしている。
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10		定期的に虐待研修をしている	研修を定期的に行えるよう今まで以上に体制を作っていく
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	10		必要な場合は、支援計画に記載し、保護者に説明を行っている	対人関係を深め、拘束しなくても安全に支援できるように今後も考えていきたい

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。